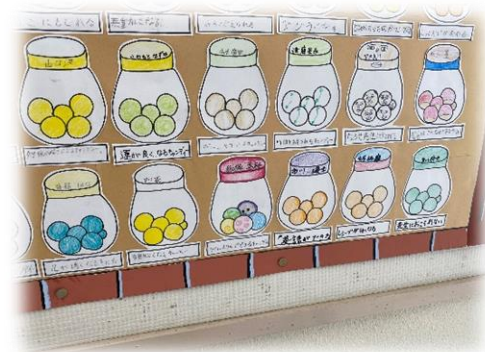


英語教育改善プラン推進事業 第1回ワーキング会議 (小学校部会)



令和3年6月23日（水）

山梨県総合教育センター

義務教育課 早川 優子

hayakawa-bsrx@pref.yamanashi.lg.jp



ワーキンググループ（小学校）メンバー

- 有識者アドバイザー : 酒井 英樹（信州大学）
- 研究指定校担当者 : 柳本 良 先生（常永小学校）
矢巻 利之先生（葦崎小学校）
小池 美樹先生（加納岩小学校）
青木 恵子先生（睦合小学校）
遠池 百恵先生（小立小学校）
竹川 寛 先生（丹波小学校）
- 英語教育推進リーダー : 米山 香 先生（上野原小学校）
- 指導主事 : 岡田 幸久先生（総合教育センター）
中村 弘和先生（峡東教育事務所）
成瀬 貴弘先生（峡南教育事務所）
三枝 幸一先生（富士・東部教育事務所）
早川 優子 （義務教育課）

小学校分科会次第（15：45～16：45）

- （1）はじめの言葉
- （2）事務局より（5分）
- （3）各校の研究について（12分）
- （4）指導助言（40分）
信州大学 酒井 英樹教授
- （5）諸連絡
- （6）おわりの言葉

小学校外国語教育における現状と課題

- 「言語活動」の理解が深まっている。
- 「言語活動を通して」について十分な理解に至っていない
- 専科教員配置によって「専科教員にお任せ」「校内研修をしなくてよい」という意識が広がっている
- 教科書活用の仕方について不安感がある
- 読むこと、書くことの指導の在り方について不安感がある
- 学習評価について十分な理解に至っていない

2021年6月16日 全国指導主事会連絡協議会より

小学校外国語教育における学習評価に関する課題とその要因

○指導と評価の一体化に関して

- 学期や学年末での評価に終始し、児童の学習会改善につながっていない
- 市販のテストにのみの評価
- 実践が少ない
- 「思考・判断・表現」の観点趣旨理解は不十分
- 「読むこと」「書くこと」の指導と評価についての理解が不十分

○単元づくりに関して

- 目標の設定が曖昧
- 評価場面の精選が不十分
- 教科書の活用の在り方についての理解が不十分

○学習到達目標（CAN-DOリスト形式）に関して

- その意義に理解が不十分
- 学習到達目標のイメージが持てない

○パフォーマンス評価に関して

- 実績が積みあがっていない

①学習評価について（小学校）

学校訪問や研修会等で先生方からあげられていること。

「話すこと（やり取り）」の評価について

- ペーパーテストで測ることのできない「話すこと」の評価に難しさを感じる。特に、「話すこと（やり取り）」のパフォーマンステストにおいては、限られた時間の中で、予定したことを話す発表のようになってしまう。
- 授業中に、すべての児童を観察することが難しい。パフォーマンスの様子を動画で撮影したり、数回に分けて評価を行ったりしているが、時間がかかる。また、見取りに、信頼性や妥当性があるか、不安に感じることが多い。

山梨県の小学校外国語教育における現状

評価方法について

- 初めて教科として評価を行う小学校段階において、どこまで正確性を求めるのか、また児童と共有するルーブリックの評価項目に悩む。
- 十分な打合せを行っても、ALTと評価の捉え方に違いが出る。

評価場面について

- 評価を、児童の学習改善につなげることに必要感と難しさを感じている。どのタイミングで、どのような内容を振り返らせるか、教師が見通しをもち、児童と共有することが大切だ。
- 「定着」を意識して、活動が形式的な練習にとどまってしまう。

観点別評価について

- 思考・判断・表現及び主体的に学習に取り組む態度における評価AとBのカットングポイントが難しい。

山梨県の小学校外国語教育における現状

②英語教育実施状況調査より（小学校）

○小学校における「CAN-DOリスト」形式による学習到達目標について

（R2.12.1現在 山梨県英語教育実施状況調査）

(ア) 「CAN-DOリスト」形式による学習到達目標を設定している学校数		(イ) 「CAN-DOリスト」形式による学習到達目標を公表している学校数		(ウ) 「CAN-DOリスト」形式による学習到達目標の到達状況を把握している学校数	
R2	R1	R2	R1	R2	R1
69.3% 115校/166校		3.6% 6校/166校		35.5% 59校/166校	

※中学校においては、(ア)100%、(イ)15%、(ウ)70%

外国語科が初めて教科化された小学校においては、CAN-DOリストは馴染みがないものと思われる。

山梨県の外国語教育の課題解決に向けて

事業目的

小・中・高等学校を通じて、グローバル社会に生きる児童生徒に求められる英語による発信力を向上させるために、実際の目的・場面・状況に応じた英語を活用する課題（パフォーマンス課題）を設定し、指導・評価するモデルを構築する。



事業のポイント

・発信力の向上

話すこと【やり取り】→既習事項を使った即興的なやり取りを継続。

・実際の目的・場面・状況に応じて英語を活用→言語活動の設定

学習評価における「思考・判断・表現」の観点と大きく関わる。

・パフォーマンス評価

何ができて、何ができないかを、児童生徒に気づかせ、共有し、次のパフォーマンスで改善することを目指し、自己調整を繰り返し行っていく。

CAN-DOリスト

振り返りシート

ルーブリック（観点別評価の捉え方）

- CAN-DOリストの活用面に着目した授業づくり
 - 指導と評価の一体化
 - 三つの評価の観点の趣旨理解

- 発信力の向上
 - パフォーマンス課題の設定
 - 妥当性・信頼性のあるパフォーマンス評価

昭和町立常永小学校

- 昭和町版CAN-DOリストの作成
- 全教職員によるバックワード・デザインによる授業設計の実践
- 目的・場面・状況を意識した言語活動の場面づくりおよびパフォーマンス課題の検討
- 効率的かつ信頼性・妥当性の高い評価方法の模索。全職員によるルーブリックの作成。ルーブリックの共有による適切な評価の実現と、その振り返りによる授業改善。

葦崎小学校

- 「思考力，判断力，表現力」を高められるような指導、評価方法の研究。
- やり取りや発表における一人一台端末の積極的な活用
- 低・中・高学年や中学校との接続を意識し、CAN-DOリスト等に基づいたパフォーマンス評価の妥当性を図っていく。
- 専科教員と担任との連携（評価に関する業務分担）

加納岩小学校

- パフォーマンス評価について研究を行い、山梨県版CAN-DOリストに基づいたループリックの作成とバックワード・デザインを意識した指導と児童の実態に即した評価の一体化を図る。
- アンケート調査の分析
- 授業研究会での授業リフレクションを通して、評価に対する検証を行う。

睦合小学校

- OPPによる変容の把握
- 本校独自のCAN-DOリスト、CHALLENGEの作成と活用
- パフォーマンス課題に関する研究
- 評価・見取り方法に関する研究
- 効果的な指導方法に関する研究
- 教材の作成・リスト化
- 小中連携を強化するため、授業の相互参観を進める。

小立小学校

- ①外国語活動および外国語科における授業づくりについて
 - ・バックワード・デザインによる授業づくり
- ②学習評価：パフォーマンス評価のCAN-DOリストを用いた評価の在り方
 - ・CAN-DOリストをもとに、単元で身に付けさせたい力を明確にする。
 - ・パフォーマンス課題をいつ、どのような方法で、どのような基準で行うのか。
 - ・自己評価につながる「振り返りカード」の作成

丹波小学校

- 山梨県版CAN-DOリストに基づいて、PDCAサイクルのもと、授業改善につながる研究を行う。
- 話すこと（やり取り）のパフォーマンス評価や評価規準に関する学習会の実施
- デジタル教材の効果的な活用

パフォーマンス評価とは？

- 発信技能を評価するのに適している。
- 思考する必然性のある場面を設定する。
- 思考のプロセスや成果を表現する機会
- 複数の多様な解答がある。
- 事前に評価基準が示されている。
- ルーブリックを用いて評価する。

※「評価基準」とは、評価規準で示したつきたい力をどの程度までに習得しているかを明示した判断基準。

5つの領域別の目標と言語活動との関連

話すこと【やり取り】目標	話すこと【やり取り】言語活動
<p>(ア) 基本的な表現を用いて指示、依頼をしたり、それらに応じたりすることができるようにする。</p>	<p>(ア) 初対面の人や知り合いと挨拶を交わしたり、相手に指示や依頼をして、それらに応じたり断ったりする活動。</p>
<p>(イ) 日常生活に関する身近で簡単な事柄について、自分の考えや気持ちなど、簡単な語句や基本的な表現を用いて伝え合うことができるようにする。</p>	<p>(イ) 日常生活に関する身近で簡単な事柄について、自分の考えや気持ちなどを伝えたり、簡単な質問をしたり質問に答えたりして伝え合う活動。</p>
<p>(ウ) 自分や相手のこと及び身の回りの物に関する事柄について、簡単な語句や基本的な表現を用いてその場で質問をしたり質問に答えたりして、伝え合うことができるようにする。</p>	<p>(ウ) 自分に関する簡単な事柄に対してその場で答えたり、相手に関する簡単な質問をその場でしたりして、短い会話をする活動。</p>

各教科書の内容

各学校が提出して下さったパフォーマンス課題を参考にしてみましょう。

	NEW HORIZON 5		Here We Go! 5
	常永小、小立小、丹波小、		睦合小、葦崎小、加納岩小
Unit 1	Hello, friends. 【自分のことを紹介しよう】 名刺交換をしよう。	Unit 1	Hello, everyone. 名前や好きなものと言って、自己紹介することができる。
Unit 2	When is your birthday? 【自分のことを紹介しよう】 バースデーカードをおくろう。	Unit 2	When is your birthday? 誕生日や誕生日にほしいプレゼントをたずね合うことができる。
Unit 3	What do you want to study? 【自分のことを紹介しよう】 夢に近づく時間割を紹介しよう。	Unit 3	What do you have on Monday? 教科や曜日など時間割について伝えることができる。
	Check Your Steps 外国の人に自己紹介をしよう。		Review 世界の友達 1
Unit 4	He can bake bread well. 【地域のことを紹介しよう】 身近な人紹介カードを作ろう。	Unit 4	What time do you get up? 家の手伝いや1日の生活についてたずね合うことができる。
Unit 5	Where is the post office? 【地域のことを紹介しよう】 オリジナルタウンで道案内しよう。	Unit 5	He can run fast. She can do kendama. 自分や他の人ができることやできないことを紹介することができる。
Unit 6	What would you like? 【地域のことを紹介しよう】 ふるさとメニューを注文しよう。	Unit 6	I want to go to Italy. 行きたい国やそこでできることを紹介することができる。
	Check Your Steps 地域のおすすみを紹介しよう。	Unit 7	What would you like? 料理を注文したり、値段をたずねたりする受け答えができる。
Unit 7	Welcome to Japan. 【日本のことを紹介しよう】 日本の四季ポストカードを紹介しよう。		Review 世界の友達 2
Unit 8	Who is your hero? 【日本のことを紹介しよう】 ヒーローを紹介しよう。	Unit 8	Where is the gym? 場所をたずねたり、道案内をしたりする受け答えができる。
	Check Your Steps 「日本のすてき」を紹介しよう。	Unit 9	My hero is my brother. 職業や性格などを言って、身近なあこがれの人を紹介することができる。
			Review 世界の友達 3

NEW HORIZON 6

Here We Go! 6

常永小、小立小、丹波小、

睦合小、葦崎小、加納岩小

Unit 1 This is me! 【世界の国々を知り、紹介し合おう】
自分についてスピーチをしよう。

Unit 1 This is me.
出身地や得意なことを言って、自己紹介することができる。

Unit 2 How is your school life? 【世界の国々を知り、紹介し合おう】
宝物を伝え合おう。

Unit 2 Welcome to Japan.
日本の行事やそこでできることを紹介することができる。

Unit 3 Let's go to Italy. 【世界の国々を知り、紹介し合おう】
旅行代理店でおすすめの国を紹介しよう。

Unit 3 What do you want to watch?
見たいスポーツをたずね合うことができる。

Check Your Steps

外国の人にメッセージを伝えよう。

Review 世界の友達 1

Unit 4 Summer Vacations in the World. 【世界と日本のつながり
を考えよう】
夏休みの思い出を紹介しよう。

Unit 4 My Summer Vacation
夏休みのできごとや感想を発表することができる。

Unit 5 We all live on the Earth. 【世界と日本のつながりを考えよう】
食物連鎖について発表しよう。

Unit 5 He is famous. She is great.
職業や性格などを言って、世界で活躍する人を紹介することができる。

Unit 6 Let's think about our food. 【世界と日本のつながりを考えよう】
オリジナルカレーを発表しよう。

Unit 6 This is my town.
自分の町にあるものやそこでできることを紹介することができる。

Check Your Steps

世界と自分のつながりを紹介しよう。

Unit 7 My Best Memory
小学校生活の思い出に残る行事を発表することができる。

Unit 7 My Best Memory. 【中学校への扉を開けよう】
小学校の思い出のアルバムを紹介し合おう。

Review 世界の友達 2

Unit 8 My Future, My Dream 【中学校への扉を開けよう】
夢宣言カードでスピーチをしよう。

Unit 8 What do you want to be?
なりたい職業とその理由を言って、将来の夢を発表することができる。

Check Your Steps

寄せ書きのメッセージを伝えよう。

Unit 9 Junior High School Life
中学校で入りたい部活動やしたいことを発表することができる。

Review 世界の友達 3

子供が自分の考えや気持ちを、楽しんで伝え合う授業づくりを目指して、失敗を恐れず、指定校同士、つながりを大切に、共に学んで行きましょう。
全ては、子供たちの笑顔のために…

